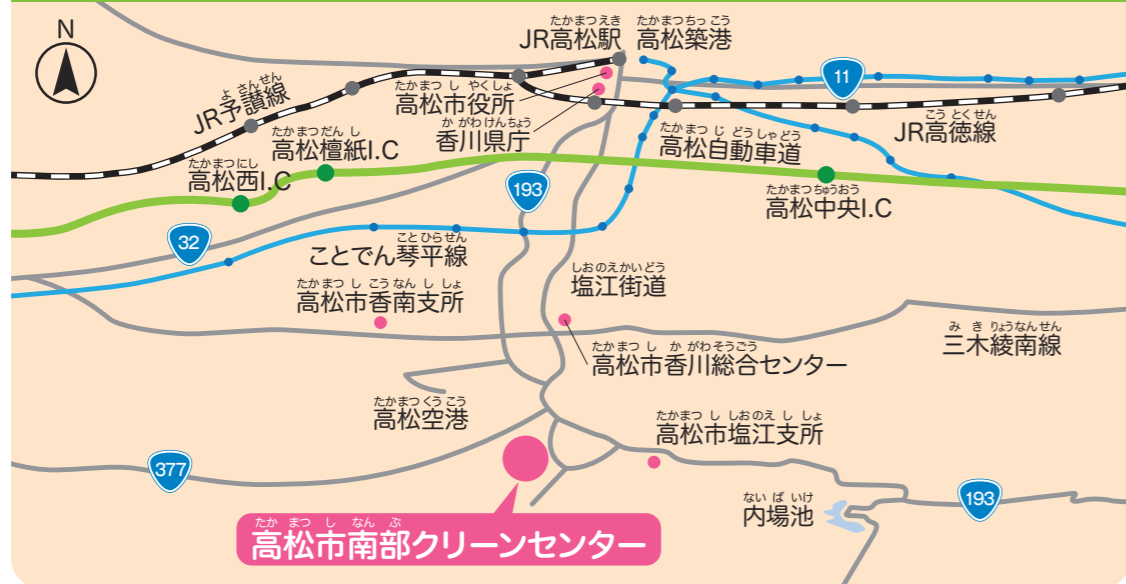


## 南部クリーンセンター全体の概要

建設場所: 香川県高松市塩江町安原下地内	施設能力: <ゴミ処理施設>
敷地面積: 約140,000㎡	施設規模: 300t/24h
(ループしおのえ 約11,800㎡含む)	(100t/24h・炉×3炉)
建築面積: ゴミ処理施設 約 6,800㎡	炉形式: 連続式流動床炉型ガス化溶融方式
廃棄物再生利用施設 約 5,600㎡	<廃棄物再生利用施設>
管理棟 約 1,100㎡	破碎系統 35t/日(5h)
計量棟 約 290㎡	選別系統 35t/日(5h)
埋立処分地 約43,800㎡	全体工期: 着工 平成12年12月
	竣工 平成16年 3月



## 位置図



## 高松市南部クリーンセンター

〒761-1503 香川県高松市塩江町安原下第3号2084番地1  
TEL 087-890-2190 FAX 087-890-2191  
Eメール nanbu\_cc@city.takamatsu.lg.jp



このパンフレットは再生紙100%使用しています。

# 高松市 南部クリーンセンター

みんなできれいなまちづくり



# ごみ処理施設

「生ごみ」や「紙くず」など、燃えるごみを処理するところです。  
燃えるごみを1日100t処理することができる焼却炉が3つあり、ふだんは2つの焼却炉を動かして、24時間ごみを燃やしています。  
1日で燃やされるごみは、最大300トンです。ごみを燃やすときに出る熱で温水と蒸気をつくって、温水は施設内の冷暖房や隣の「ループしおのえ」に送っています。蒸気は発電機に利用し、電気をつくって、施設で利用しています。 ※1t=1000kg

**中央制御室**  
ごみ処理施設内の機器・設備全体の監視制御や運転操作を行っています。



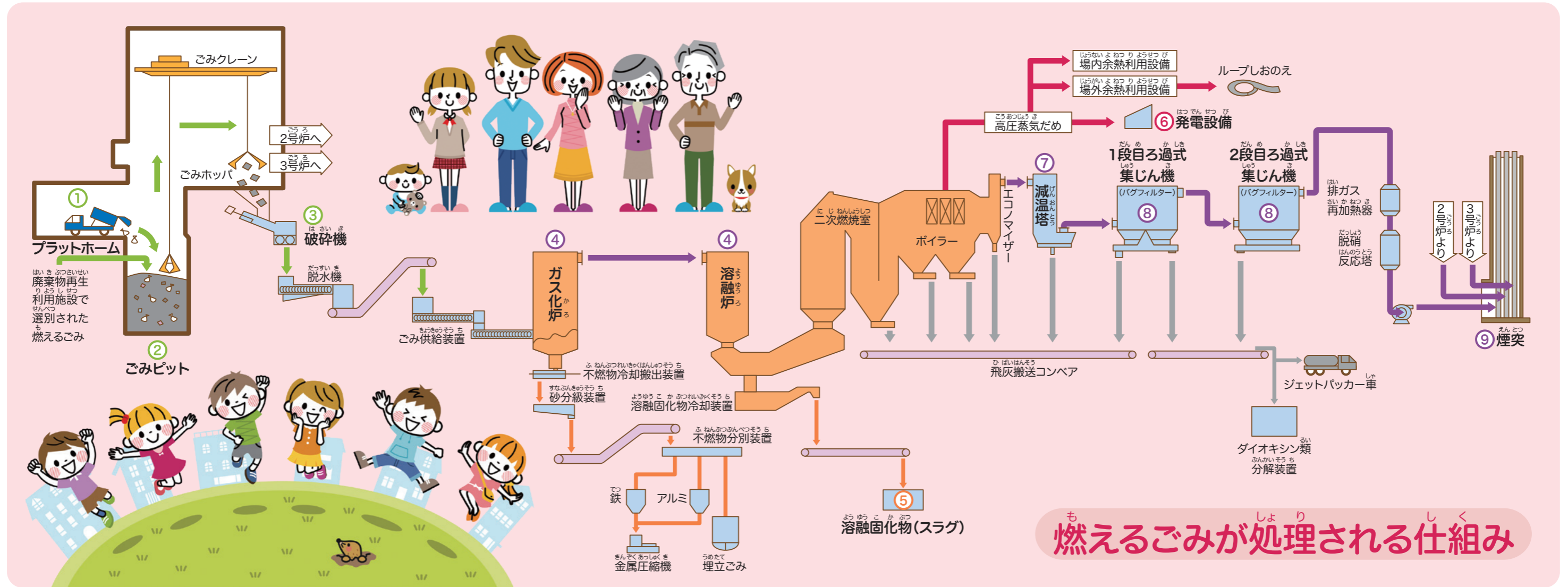
**① プラットホーム**  
1日約100台のごみ収集車が、高松市のごみを約200t集めてきます。



**② ごみピット・ごみクレーン**  
15日分のごみ(約5000t)をためることが出来ます。またクレーンでは、一度に3.5tものごみをつかめます。




**③ 破砕機**  
ごみを細かく砕いて、ごみを同じ大きさにして処理しやすくします。

## 燃えるごみが処理される仕組み

**④ ガス化炉・溶融炉**  
供給されたごみはガス化炉で砂と混合し、ガス化熱分解し、溶融炉で高温空気により燃焼・溶融してスラグ化します。



**⑤ 溶融固化物(スラグ)**  
溶融物は溶融固化物冷却装置内の水で冷却される時に、はじけて小さな粒状となり固化します。それを、溶融固化物と呼びます。



**⑥ 発電設備**  
ボイラーで発生した蒸気で発電を行い、電気は南部クリーンセンター内で利用するほか余った電気は電力会社へ送電します。



**⑦ 減温塔**  
溶融炉から発生した排ガスを水噴射装置で冷却します。



**⑧ 集じん機**  
排ガス中の飛灰は、この過式集じん機で細かく取り除きます。



**⑨ 煙突**  
減温塔や集じん機で処理された排ガスは排出されます。



# 廃棄物再生利用施設

「ごみ」の中から鉄、アルミニウム、ペットボトル、びんなど資源として再利用できるものを取り出すところです。  
 「缶・びん・ペットボトル」「プラスチック容器包装」「紙・布」「粗大・破碎ごみ」に分けて集められたごみを、資源として再利用するために、もっと細かく分けて運びやすいようにまとめます。  
 「粗大・破碎ごみ」は、機械で細かく砕いてから鉄とアルミニウムを回収します。

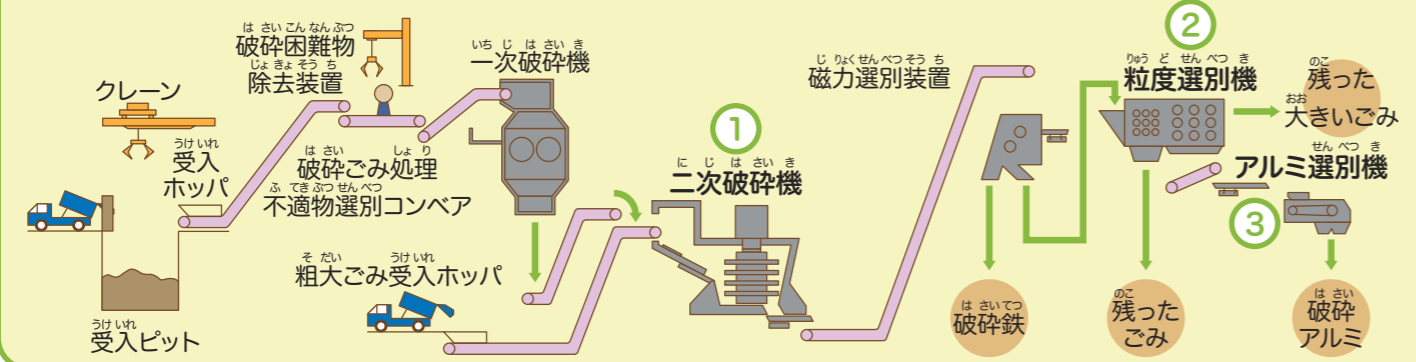
中央制御室  
 廃棄物再生利用施設内の機器・設備全体の監視制御や運転操作を行っています。



リサイクル家具  
 粗大ごみとして持込まれた家具等の中で、きれいなものは、希望者に年数回抽選を行い、無償でお譲りしています。



## 破碎ごみライン



### ① 二次破碎機

一次破碎機で処理された破碎ごみと粗大ごみを細かく破碎します。



### ② 粒度選別機

「ふるい」の目の大きさにより、破碎物を3種類に選別します。

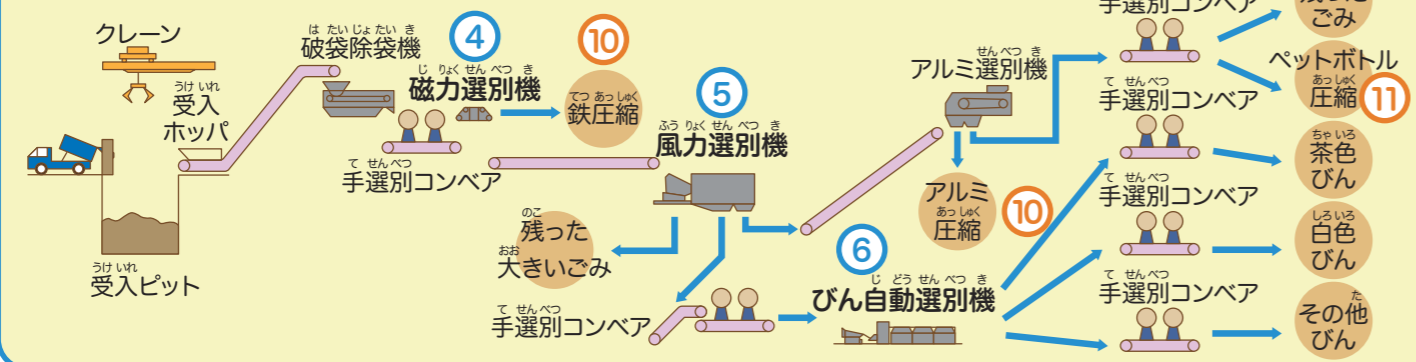


### ③ アルミ選別機

磁石の力と電気力でアルミを飛ばして選別します。



## 缶・びん・ペットボトルライン



### ④ 磁力選別機

磁石の力を利用して鉄を選別します。



### ⑤ 風力選別機

風力を利用して重さの違いでびんとアルミ缶・ペットボトルを選別します。

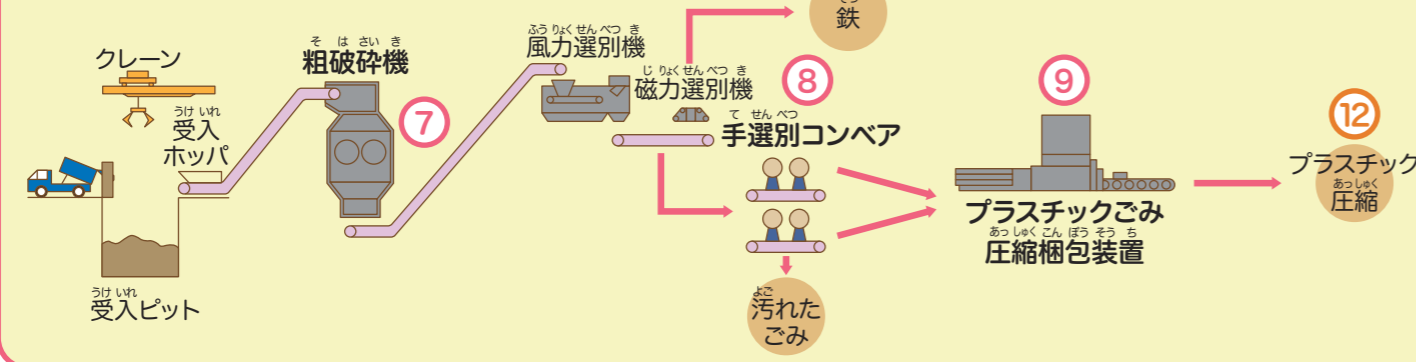


### ⑥ びん自動選別機

びんを茶色・白色・その他の色の3種類に選別します。

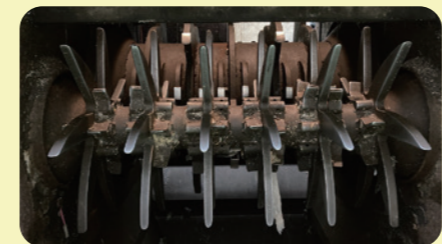


## プラスチックごみライン



### ⑦ 粗破碎機

一つの回転する刃で、袋等を裂き、風力選別機後の処理をやすくします。



### ⑧ 手選別

人が汚れたものや、プラスチック以外のものをとりのぞいていきます。

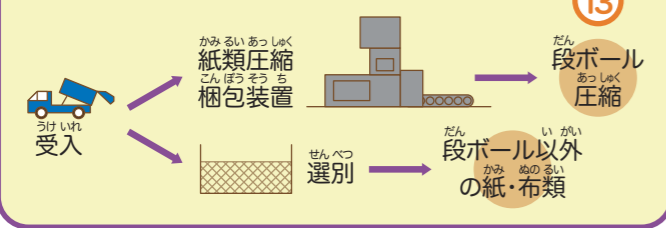


### ⑨ プラスチックごみ圧縮梱包装置

選別された資源ごみを搬送しやすいように圧縮梱包します。



## 紙・布類ライン



圧縮成形物の写真



# 管理棟(エコホテル)

1階では、はがき作り、リサイクル工作などの体験ができます。  
2階では、展示ギャラリーのパネルやパソコンを使って学習できます。  
施設見学の見学もここで行っています。



## はがき作り



## リサイクル工作



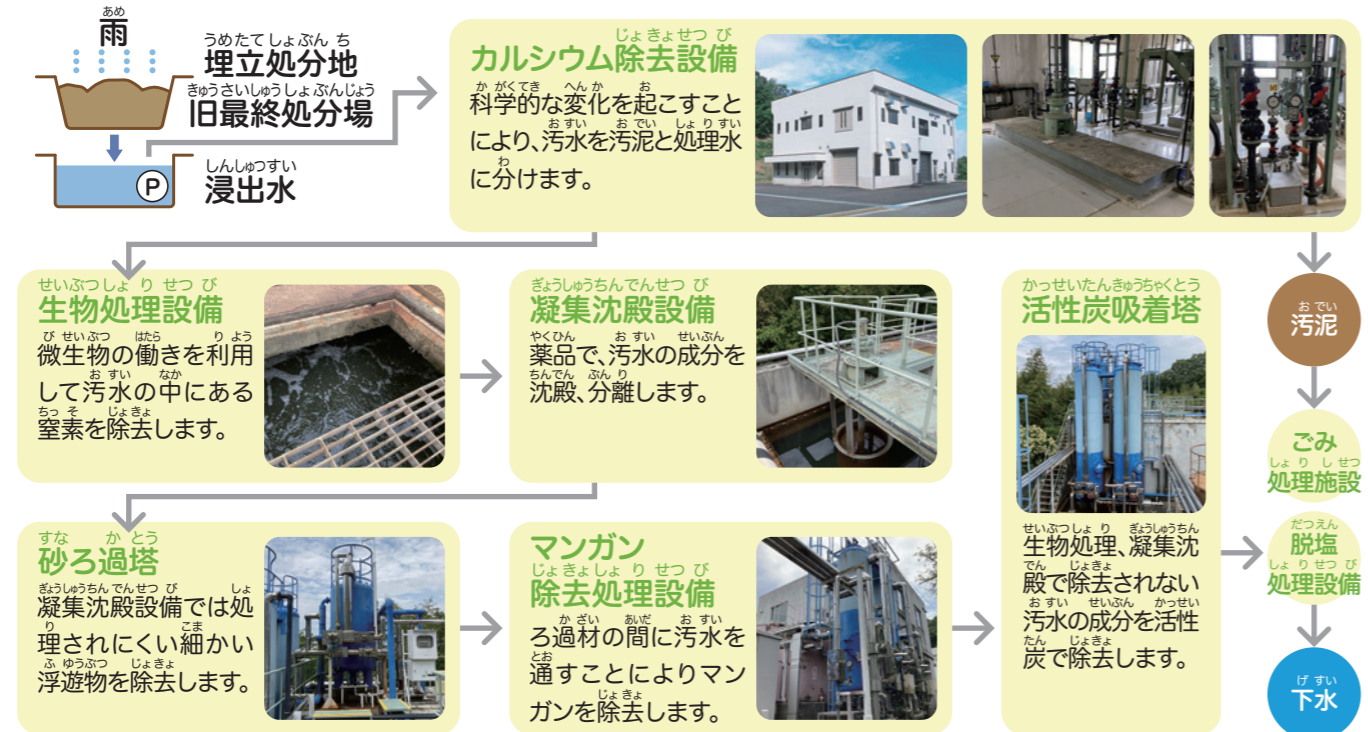
## 施設見学



# 浸出水処理施設・カルシウム除去施設

浸出水処理施設では、南部クリーンセンター埋立処分地に降った雨水が埋立地を通り、出てきた水をきれいに処理して下水に放流します。

カルシウム除去施設では、汚水を汚泥と処理水に分離処理しています。



# 埋立処分地

埋立面積: 43,800㎡  
埋立容量: 472,200㎡  
埋立対象物: 焼却灰等

埋立方法: 準好気性埋立構造  
飛散防止のため、土をかぶせながら埋立していくサンドイッチ工法です。  
現在は西部クリーンセンターの焼却灰を主に埋立しています。  
埋立期間: 昭和54年9月13日から現在継続中



南部クリーンセンター埋立処分地



# 暮らしの中でできる「ごみ減量・資源化」

ごみの減量のポイントは、リデュース (Reduce: 発生抑制)、リユース (Reuse: 再使用)、リサイクル (Recycle: 再資源化) の3Rです。  
まずは、できる限り、ごみの量を少なく (リデュース) し、次に、修理などによって再使用 (リユース) して、できるだけ長く使い、ごみとして出す場合は、分別を徹底し、再生された製品 (リサイクル) を使っていただくことです。

